

極楽寺山



植物観察登山マップ



鐘楼から瀬戸内海を望む



モミ (通年) マツ科
常緑 高木
中腹～山頂
葉の先端が尖った種は二つに分かれているのがモミ。合かされていないのがカラマツ。極楽寺山の代表木の一つ。大木でこれだけの群落があるのは珍しい。



シロモジ (3月) クスノキ科
落葉 低木
山頂に沢山
早春にまぶ黄色の花が咲く。続いて新芽が息吹き、葉は深く三裂。初夏にうす緑色の葉がつき、熟すと黄ける。落葉は遅い。極楽寺山の代表木の一つ。



ウスギヨウラク (春)
ツツジ科
落葉 低木
中腹～山頂
薄黄色のつり鐘状の可憐な花が咲く。



ハイノキ (5月)
ハイノキ科
常緑 小高木
八百目～山頂
白く花びらのように咲く。秋には葉が赤く、この木の深は染色の媒染剤になる。



ギンリョウソウ (5月～7月)
イチヤクソウ科
腐生植物
八百目～山頂、遊歩道
うす暗い林の中に生え、葉緑素を持たないため、葉も花も葉も白く、庵の露のよる花。別名ユレイ草。



ミヤマシキミ (10月～2月)
ミカン科
常緑 低木
八百目～山頂
樹液質。有毒。葉は輪生状。花は春に白く固まって咲く。実は赤く、良い検写体になる。



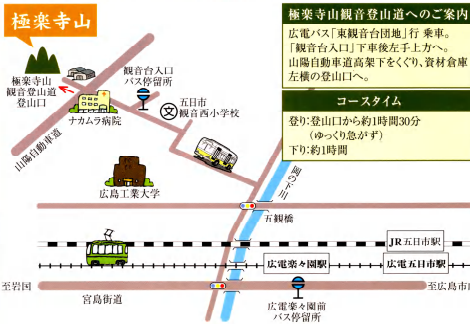
アカガシ (通年) ブナ科
常緑 高木
中腹～山頂
極楽寺山を代表する木の一つ。幹の皮には赤木で落下葉のものがある。材が赤いのでこの名がつけられた。



編集後記

広島市の西部にそびえる雲山・極楽寺山は、歴史と文化そして原生林に恵まれた自然の宝庫です。極楽寺山に魅せられた私たちは、観音台公民館「極楽寺山山麓探検講座」の実践活動の一つとして、観音登山道を中心とした植物観察マップを作成しました。昔は、その途中に茶店もあったと云われる旧観音登山道は、今は、国土地理院の2万5千分の1の地図にも記載されておらず、そのためか、豊かな自然がそのまま残っています。私たちは、平成13年度から、自らの足と羅針盤で磁石と高度計で、この旧道のルートを確かめ、また、四季折々の特徴ある樹木・草花をカメラに取めました。そして、これらの記録をこのマップにまとめました。このマップが、これから観音登山道を散策される方々に少しでもお役に立てば、嬉しく思います。

企画・編集/極楽寺山マップクラブ 佐伯区ふるさと文庫
発行：平成15年3月 広島市佐伯区役所・観音台公民館



極楽寺山観音登山道へのご案内
広電バス「東観音台」行 乗車。
「観音台入口」下車後左手上かへ。
山陽自動車道高架下をくぐり、資材倉庫
左横の登山口へ。

コースタイム
登り：登山口から約1時間30分
(ゆづり急がず)
下り：約1時間